

平成 22 年 1 月 7 日

各位

会社名	株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
代表者氏名	代表取締役社長 小澤 洋介 (コード番号：7774 NEO)
本店所在地	愛知県蒲郡市三谷北通6丁目209番地の1
問合せ先	取締役経営管理部長 大林 正人
電話番号	0533-66-2020 (代表)

「戦略的イノベーション創出推進事業」に関する提案課題採択のお知らせ

1月7日、財団法人先端医療振興財団（兵庫県神戸市、グループリーダー：高橋政代）および株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング（愛知県蒲郡市、代表取締役社長：小澤洋介）等は、独立行政法人科学技術振興機構（略称 JST）が公募した平成 21 年度「戦略的イノベーション創出推進事業（S-イノベ）」の提案課題に採択されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、S-イノベとは、JST が平成 21 年度より開始した新しい事業で、JST 戦略的創造研究推進事業等の成果から産業創出の礎となる研究開発テーマを設定し、当該テーマの下、公募選定された産学連携による複数研究開発チームが長期一貫（最長 10 年）で研究開発を進めていくものです。S-イノベに関する詳細は、下記 JST ホームページをご覧ください。

- 「戦略的イノベーション創出推進事業（S-イノベ）」における平成 21 年度新規課題の決定について

<http://www.jst.go.jp/pr/info/info703/index.html>

- 資料 2：戦略的イノベーション創出推進事業 平成 21 年度 採択課題一覧

<http://www.jst.go.jp/pr/info/info703/shiryoku2.html>

記

【研究開発テーマ】 iPS を核とする細胞を用いた医療産業の構築

【提案課題名】 細胞移植による網膜機能再生

【概要】

本提案課題の最終目標は、iPS 細胞を用いて難治性網膜疾患に対する細胞移植治療を世界で初めて開発することであり、その治療関連技術の産業化への道筋を示すことである。

本提案課題では、これまでの基礎研究の成果技術について必要な条件を整えることによって実際の治療に使用可能なものにすることを目標とする。具体的には移植用 iPS 細胞の樹立法、臨床に応じた簡易かつ安価な分化誘導法、分化誘導細胞の長期腫瘍化の評価などの安全性試験、移植細胞の品質管理方法および対象患者の選択を前臨床試験で達成し、プロトコール作成の上、臨床研究を行う。さらには、研究機関が前臨床試験の段階から企業と連携することにより、効率的に関連技術やデバイスの中で産業化に適した部分を企業と共同で開発し、世界に発信する。

【当社の役割】

当社は患者自身の細胞・組織を利用した日本初の再生医療製品として、自家培養表皮ジェイスの製造販売承認（適応対象：重症熱傷）を取得し、さらに自家培養軟骨、自家培養角膜上皮の開発も進めてきた。

本提案課題で世界に先駆けて iPS 細胞を用いた再生医療を実現するにあたり、当社がこれまで培ってきた再生医療製品開発技術ならびに品質管理技術等のノウハウを提供する。

【研究リーダー・代表研究機関】

研究リーダー	氏名	<small>たかはし まさよ</small> 高橋 政代
	所属機関	財団法人先端医療振興財団
	部署	先端医療センター研究所 視覚再生研究グループ
	役職	グループリーダー
	所在地	兵庫県神戸市中央区港島南町 2-2 先端医療センター内

【開発リーダー・代表企業】

開発リーダー	氏名	<small>はた けんいちろう</small> 畠 賢一郎
	所属機関	株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
	部署	研究開発部
	役職	常務取締役 研究開発部長
	所在地	愛知県蒲郡市三谷北通 6 丁目 209 番地の 1

本件による平成 22 年 3 月期通期業績に与える影響は軽微であると考えております。今後当社の業績に重大な影響を与えることが判明した場合は、速やかにお知らせいたします。

以上

【本プレスリリースに関するお問合せ先】

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
経営管理部総務課 PIR 担当 榊原（さかきばら）
TEL：0533-66-2020 FAX：0533-66-2019